



### 親子で木工品作りに挑戦

■8月16日、南浜館で開催されました。参加した33人の親子は、協力しながら本棚やマガジンラックなどを楽しそうに作っていました。



### 高齢者とのふれあいグラウンドゴルフ大会

■8月22日、別府小学校で行われました。別府地区の子どもや高齢者など約100人が参加し、子どもたちは打ち方や力加減などを教わりながら高齢者との交流を深めました。



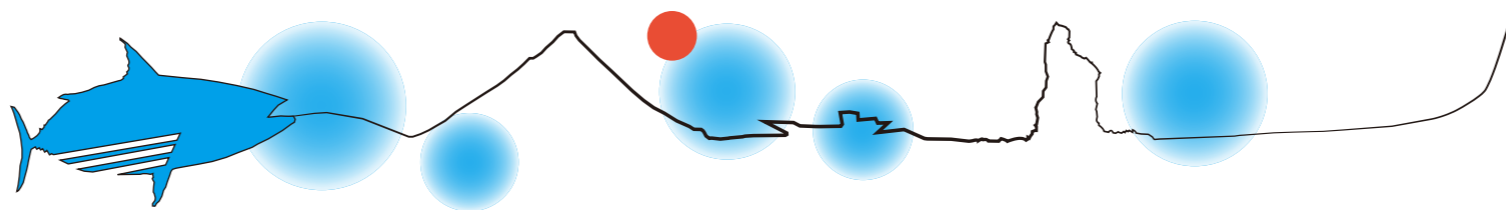
### 「最北端・食マルシェ」に初出店

■8月22、23日に友好都市の北海道稚内市で開催された「最北端・食マルシェ」に枕崎市通り会連合会の「昆鯉枕崎鯉大トロ井」が初出店。用意した約500食が2日目の昼前には売り切れる人気ぶりでした。コンカッププロジェクトが縁で結婚した米森夫婦(夫人が本市出身)も応援に駆けつけました。



### 授業力ブラッシュアップセミナー

■7月31日、市民会館で行われ、市内小中学校の教職員97人が参加しました。子どもたちによりわかりやすい授業を実践するため、各担当教科ごとに実践事例などの情報交換を行いました。



### 子どもたちが漫才にチャレンジ ～こども寄席～

8月10日、立真寺で「こども寄席」が開催され、男女13組の児童が漫才を披露しました。「こども寄席」は、笑を通して人前で発表する力を身に付け、友達づくりに役立つことを目的に初めて開催されました。7月上旬に住みます芸人として県内で活躍する始良市出身の漫才コンビ「突撃パイナップル」などが講師となりネタ作りや笑わせ方を伝授。わんぱくクラブの学童保育の児童がコンビやトリオを結成し、自分たちでネタを考え練習を重ねてきました。ステージに立った児童たちは、オリジナルのネタで会場を沸かせていました。「デブガリー」のコンビ名でネタを披露した遠山航世くん(立神小5年)と阿多冴粋くん(同4年)は「とても楽しかったです。人前で話す自信がつかえました」と話してくれました。



### 自然の大切さを学ぶ ～金山 森の学校～

8月19日、20日の2日間、金山森の学校が旧金山小学校や木口屋集落内で開催され、小学5・6年生24人が参加しました。参加した児童は、コケ玉作りや星空観察、川遊びなどを通して、自然の営みや環境について学びました。上原捺々美さん(桜山小6年)は「川遊びやコケ玉作りなど楽しみながら自然について学ぶことができました。あっという間の2日間でした」と話してくれました。



### 世界レベルのダンスを学ぶ ～ケント・モリ夏休みスペシャルワークショップ～

アメリカを中心に活動するダンスアーティストのケント・モリさんによるワークショップが、8月21日にLCLダンススタジオで開催されました。3回に分けて実施されたワークショップには、幼児から60歳代まで約150人が参加しました。枕崎にちなんで「一本釣り」の振りを取り入れるなど、ケントさんのユーモア溢れるレッスンに参加者は笑顔で踊っていました。ケント・モリさんは「ダンスを通じて1つの空間でみんなが1つになる喜びを分かち合ってもらいたい。参加者も枕崎の環境がそのまま出てとても元気ですね」と話していました。



### 戦後70年 それぞれの思い ～戦後70年関連行事～

- 1 人文字づくり 8月16日、枕崎七夕の会主催で片平山公園グラウンドで行われ、約120人の市民が心ひとつに巨大な「和」の文字を作りました。
- 2 平和祈念展望台ライトアップ 8月13日、枕崎観光ボランティア主催で行われ、63基の灯籠の点灯などが行われました。
- 3 戦後70年企画写真展「我がまち ふるさと 枕崎」 8月12日から16日の期間、枕崎七夕の会主催で南浜館で行われ、1,200人が来場しました。
- 4 戦没者追悼慰霊祭 8月12日、市遺族会主催で片平山公園の慰霊塔前で行われました。遺族ら約110人が参列し、献花台に花を捧げました。



### 枕崎警察署が優勝 ～県下警察通信指令無線通話技能競技会～

7月29日、県下警察通信指令無線通話技能競技会が県警本部(鹿児島市)で開催され、南薩ブロック代表として出場した枕崎警察署(長野義之介警部補、上原屋彰吾巡查部長、崎野貴大巡查)が優勝しました。競技会には県内6ブロック代表の警察署が出場し、不審者情報を受けて駆け付けた現場で、娘を連れ出していた男に接見禁止命令が出ていることを見抜くという想定内容で、25分間に目撃者の事情聴取や捜査手配などの確な初動対応を競いました。崎野貴大巡查は「今回の優勝はとても自信になりました。今回の経験を現場でも積極的にいかせるようにしたいです」と話していました。